

## 広めよう！八王子の子育て情報

Let's spread Child Care information in Hachioji!

グループ名：シナモン

学生氏名：荻澤満奈美, 神山優, 椿優妃, 深田悠雅

指導教員：宮本悟

所属先：中央大学 経済学部 宮本ゼミ

キーワード：人口減少, 子育て, SNS

### 1. 八王子市の人口動態

八王子市の「令和 2 年度 八王子市基礎データ集～はちおうじを知り、未来を描く～」における転入者数に注目すると、0 歳児～4 歳児の転入出が多いことが分かる。これは、未就学児の乳幼児を持つ子育て世代が八王子市に転入してくる一方で、市外に転出する人もいることを示している。そして現在八王子市の人口割合は 40 代が最も多く、今後高齢化による人口減少が進むことが課題として挙げられている。

このことから、私たちは人口減少の緩和策として子育て世代、特に未就学児の乳幼児を持つ子育て世代が八王子市に長く住もうと思えるように、八王子市の魅力、その中でも子育てに関する広報活動の活性化を提案する。

### 2. 八王子市の子育ての魅力

八王子市「子育て応援サイト」によると、同市の子育ての魅力として、子育て支援制度においては、所得制限のない乳幼児医療費助成制度や義務教育就学児医療費助成制度などがあり、その他のサービスとして、児童館や親子ふれあい広場・親子つどいの広場など 48 か所もの子育てひろばといった子供の居場所が多数存在する。

また八王子市公式 LINE ではセグメント配信によって必要とする人に確実に情報を提供している。加えて妊娠・子育て支援 LINE「すくすく☆メール」

という、登録することで妊娠中の方や子ども(0 歳～3 歳)がいる家庭に役立つ健康・食事などのアドバイスを発信する機能もある。

一方で、板橋区公式ホームページの「子ども・子育て支援に関する調査における子育て支援サービスの認知度のアンケート結果」によると、認知度と利用頻度は深く関わり合っている。このようなアンケート結果は八王子市にも当てはまると予想でき、様々な子育て支援サービスが存在していても、認知されていなければ意味がないと考えられる。

### 3. 広報活動の活性化・PR 案

NHK の番組サイト「すくすく子育て ch」によると、9 割近くの人が子育てで SNS を利用している。そこで、私たちは SNS による情報発信の活性化を提案する。

まず一つ目の提案は、LINE の登録者数を増やすためのキャンペーンを行うことである。八王子市公式 LINE と「すくすく☆メール」は存在しているが、それを使う上でまずは登録してもらう必要がある。LINE アプリで検索すると、八王子市の公式 LINE アカウントの友だち数は 2 万人ほどと、八王子市の人口約 57 万人と比べても少ない。そこで登録者数の増加を目指して、市の LINE 登録をした方に期間限定で、無料で八王子市のオリジナル LINE スタンプを作り配信することを考えている。実際に無料での LINE スタンプの配信は、市における LINE の

登録者数が最も多い約184万人を有する福岡市も実施していたものであり、登録のきっかけとしては誰もが目にしていやすい。また市内在住者の登録を増やすために、母子手帳にLINEのQRコードを付けることで市内の子育て世代、特に未就学児の乳幼児を持つ子育て世代を中心に登録者を増やしていく。それにより「すくすく☆メール」の利用を促し、未就学児の子育て世代に十分な情報発信をし、長く居住してもらうことで市外への転出を防ぐ。

二つ目の提案は、子育て専用のInstagramの開設である。現在確認したところ、八王子市の子育てに関するInstagramは「八王子市の子育てママ支援情報サイト」が既にあるが、これはイベントやコラムのようなものの発信が多い。そこで私たちはInstagramのアカウントを作成し、簡単な子育て支援サービスに関する情報の提供やLINEの登録を促す内容の配信を考えている。そして親子ふれあい広場・親子つどいの広場、子ども広場や児童館のリアルな様子を投稿することで、利用の魅力や親と子ども同士の交流を深め、地域のつながりも広がればと考える。

#### 4. 二つの活動の目標

二つの活動を通じて、私たちは八王子市の子育ての魅力をもっと多くの人を知る機会を増やし、人口減少を緩和できればと考える。

LINEアカウントの登録者数を増やして「すくすく☆メール」の利用を促すことで、未就学児の子育て世代に寄り添い長く居住してもらう。そして最終的にはその子供の地元が八王子市となることを期待し、将来的な地元へのUターンを狙う。まずは市内の子育て世代の満足度を高め、子育て支援の情報が市外にも魅力として広がることを目指す。Instagramでは子育て関連の情報を中心に市内外へ発信し、市外在住者にも八王子市を定住先の選択肢として視野に入れてもらう。また子育て世代に限らず、若い世代が少しでも子育てに関する情報を得ることで、八王子市への定住促進と同時に、子育てへの不安を解消することもできるのではと

考える。

#### 5. 参考文献

・令和2年度 八王子市基礎データ集～はちおうじを知り、未来を描く～

[https://www.city.hachioji.tokyo.jp/content/s/open/002/p030605\\_d/fil/hachiojikisode-ta.pdf](https://www.city.hachioji.tokyo.jp/content/s/open/002/p030605_d/fil/hachiojikisode-ta.pdf) 2023年9月4日閲覧。

・八王子市子育て応援サイト

<https://kosodate.city.hachioji.tokyo.jp/index.html> 2023年9月4日閲覧。

・妊娠・子育て支援LINE「すくすく☆メール」／八王子市子育て応援サイト

<https://kosodate.city.hachioji.tokyo.jp/so-shiki/kodomonoshiawaseka/2186.html>  
2023年10月17日閲覧。

・板橋区公式ホームページ「板橋区子ども・子育て支援に関するニーズ調査 結果概要」

[https://www.city.itabashi.tokyo.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page/001/004/657/attach\\_56960\\_5.pdf](https://www.city.itabashi.tokyo.jp/_res/projects/default_project/_page/001/004/657/attach_56960_5.pdf) 2023年9月4日閲覧。

・NHK すくすく子育て ch

[https://www.nhk.or.jp/sukusuku/articles/article\\_209/](https://www.nhk.or.jp/sukusuku/articles/article_209/) 2023年10月17日閲覧。